



あと5年で 棚田が なくなる！

棚田とは？

棚田とは一般的に、山の斜面や谷間の傾斜地に階段状に造られた水田のことを指します。特長としては、保水・洪水調整・地滑り防止・生態系保全といった機能面だけでなく、何よりその景観の美しさが挙げられます。

兵庫県神崎郡市川町の棚田

ある農家から「あと5年で棚田がなくなる」と聞き、「先祖代々引き継がれた美しい棚田を守りたい！」と結成されたのがNPO法人棚田LOVER'Sです。

豊かな自然が広がる奥播磨地域に、播磨富士とも呼ばれる『笠形山』という山があります。

その山の木は姫路城のご神木にも使われ、水は姫路地域の水源にもなっています。

かつては、その笠形山のふもとにもたくさんのおいしい棚田がありました。笠形山のおいしい水で育ったお米がとれる棚田がありました。

しかし、現在はその棚田も徐々に放棄され、失われてきています。

棚田LOVER'Sでは、その笠形山のふもとの棚田を後世に残そうと、地域に根付いた棚田保全の活動を行っています。

また、農作業体験やイベントによる棚田保全の普及啓発活動も実施し、都市と農山村地域の人々の交流を通して、持続可能な循環型社会を目指しています。

まず一度、棚田のお米と農作業を体感しに来てください！



現在、棚田LOVER'Sが活動している棚田は、兵庫県神崎郡市川町にあります。棚田では笠形山からのおいしい水を使い、農薬、化学肥料を使わずにお米を作っています。夏にはホタルが集まり、そのことから水のきれいさや自然の豊かさを実感できます。実は棚田という形は機械での農作業に向いておらず、米作りには非常に手間がかかります。しかし、日の出が遅く日没が早く冷え込む山間地にある棚田は、その昼夜の寒暖差で、お米がおいしく育ちます。手間がかかる分、おいしいお米が育つのが棚田なのです。

そして、農作業中には、平地とは違った本当に心地よい風を感じることができます。ご興味ある方は、ぜひ一度気軽に活動に参加してみてください。